



『村上七夕祭り』の由来

古来7月6日に行われていた『ねぶり流し』という睡魔を払う祭りに、江戸时代中国から伝わった星祭りが加わり『七夕』になったといわれています。さらに伊勢信仰を広める御師が全国で披露していた伊勢神楽の「獅子舞」が結びつき、明治時代に今のかたちになったとか。



町ごとに特色ある屋台や踊り



七夕屋台は、四隅に竹と短冊を飾った台車の上に皇大神を祀る伊勢堂、押絵で古今の物語を表現したぼんぼり、花笠で構成されますが、押絵の物語は歌舞伎などを題材に町内ごとに異なります。獅子舞も立ち舞、玉遊び、二頭獅子などの種類や、子どもが“ささら”という鳴り物で獅子とたわむれる演出もあり、太鼓や笛の音、踊りにも町内ごとの特色があります。



だすけ村上 村上の七夕祭り～獅子舞の宴～

日時 令和5年1月29(日)9:00～17:00
会場 村上市民ふれあいセンター
ふれあいホール(村上市岩船3270)

獅子舞演舞の他、全19町内の獅子頭・備品展示
村上の特産品販売などイベント目白押し!
マップはこちら! ▶▶▶

入場無料



新春 寿 真冬の熱き乱舞!

卷頭特集 村上を担う若獅子の集う日

村上大祭と並び夏を彩る(村上七夕祭り)。約300年の歴史をもち、19町内の七夕屋台と獅子舞が地域を練り歩く伝統行事です。その獅子舞を真冬に見られるイベントが1月29日(日)に開催されます。主催の(だすけ村上)富樫裕子さんにお話をお聞きしました。



した。恒例となつた『陶芸教室』には約100人が参加、12月の『堆朱箸づくり体験』にも幼稚園児から大人まで多くの参加者が集い、広がる連携の輪は今回のイベントにも活かされています。

町内の会場は、村上市民ふれあいセンターふれあいホール。「入り口には竹と願い事を書く短冊を設置して七夕(しだれ)を演出します」と富樫さん。そして全19町内の屋台や太鼓、錫杖と獅子頭などの道具展示

が来場者を迎えて、中心スペースでメインの催し、17町内が獅子舞を各25分ずつ披露していきます。

このほか『獅子舞ラーメン』など特別メニューを提供する飲食ブースやキッズセンター、お茶、堆朱、鮭など地元の名産品、特製『獅子舞手ぬぐい』などの物販、体験コーナーなども出店。食事ができるお休み処もうけられることのこと。子ども向けの縁日「一ナーマーもあり、お祭り気分を家族で味わえるイベントになります。

大変な思いをしてなぜ祭りを続けるのか、それは「そこに祭りがあるからだ」としか言じようがない、と語る青年たちに心を寄せ、「私も全部の獅子が揃つたところは見たことないで楽しみ」と胸を弾ませる富樫さん。まるごと読者へのメッセージをお願いすると「地元が好き、お祭りが好き」という若者のパワーをぜひ感じてください」と熱い言葉が返つてきました。

真冬の寒さを吹き飛ばす、若き獅子たちの舞と七夕屋台。伝統の祭りを五感で楽しめる空間に、家族でお出かけください。

信じたじし、何より子どもたちが将来自外出ても、また帰りたくなる思ひ出になれば」と、願う富樫さんは、その熱意にうたれた多くの人たちの協力で準備は進んでいます。

引き回し、家の前で「商売繁盛、家内安全、悪魔払い」を願い獅子舞を披露する。江戸時代中期に始まったとされる(村上七夕祭り)は、青年会が主体となり35歳までの若者によつて行われる年中行事です。

参加町内の一つ塙町に生まれ育ち、幼いころから祭りに親しんできたという(だすけ村上)代表の富樫さんは、「この祭りの存続に危機感を抱いていました。「以前から少子化で子どもが減つていて」と、口をたゞぎで2年続けて中止。22年は開催されました。が規模縮小で、祭りを知らずに成長する子どもが増えていました。このままでは存続も危ぶまれる」という声をあちこちの青年会から聞き、何かできないかと仲間たちと考えた結果、今回の催しを企画しました。七夕祭りで成長した若者が村上大祭の担い手になるという経験で伝統をつなぐステップのために、屋台づくりや鳴り物の練習をし、披露する機会は貴重です。

冬の県北は何もないけど、若者の意気込みは熱いことを県内外に発表しました。

前年の20年から地域コーアイネーターに委嘱されていた富樫さんは、各種行事中止が続くなかった「番多感」な時期の子どもが、失敗や成

「だすけ村上」とは これまでの活動を紹介

今回イベントを主催する(だすけ村上)は、コロナ禍を機に誕生した「村上第一中学校」の地域コーアイネーターグループ。21年4月に発足し、同校生徒や父兄など一般人も対象に放課後の学校でさまざまな体験イベントを行いました。

前年の20年から地域コーアイネーターに委嘱されていた富樫さんは、各種行事中止が続くなかった「番多感」な時期の子どもが、失敗や成



人生にも関わる。私に何かできぬいか」と考え仲間とグループを立ち上げたところです。

感染対策を実施しながら行つた活動で、紙飛行機大会、「甲冑隊とコスプレ隊」と「マジック教室」、「甲冑隊とコスプレ隊」と「紙飛行機大会」、「陶芸教室」など、徐々に参加者も増えていき、「マジック教室」、「甲冑隊とコスプレ隊」と「紙飛行機大会」、「陶芸教室」など、6校の連携体制へと拡大しました。

22年春からは同校学区の小学校、(村上東中学校)区の小中学校合わせて6校の連携体制へと拡大しました。



功などは、みんなの体験がで

きすに成長するのは後の人生にも関わる。私に何かできぬいか」と考え仲間とグループを立ち上げたところです。

感染対策を実施しながら行つた活動で、紙飛行機大会、「甲冑隊とコスプレ隊」と「マジック教室」、「甲冑隊とコスプレ隊」と「紙飛行機大会」、「陶芸教室」など、徐々に参加者も増えていき、「マジック教室」、「甲冑隊とコスプレ隊」と「紙飛行機大会」、「陶芸教室」など、6校の連携体制へと拡大しました。